令和７年度　長崎西彼地域施肥防除基準（野菜．５）

長崎西彼農業協同組合
長崎西彼施肥防除合理化協議会

農薬登録内容は令和６年12月現在

アスパラガス

施肥基準（10ａ当りkg）

２年生以降土壌分析を基にして適正施肥

肥料名	冬肥	春肥	備考
完熟堆肥	１月上旬保温開始前 3,000		N－P－Kの成分量は78.8－17.6－25.2
セルカ	100	100	
エコグリーン	100		
アスパラエース２号		100	
アスパラ追肥１号	35kg/月２回（延べ16回）		※追肥時期は３～４月及び６～11月まで
アスパラガス夏芽追肥一発	春肥と同時に100kg/10ａの１回施用		N－P－K－Mg＝30－1－1－1.5
アスパライズ０１１	10kg/10ａを300倍以上に薄めて灌水施用		N－P－K＝10－1－1

防除基準

病害虫名	農薬名	使用濃度	使用期間	使用回数	備考	分類
茎枯病	ベンレート水和剤	2,000	前日	4	○立茎期間の防除例（立茎開始時）ベンレート水和剤→（10日後）ロブラール水和剤→（10日後）ロブラール水和剤又はコサイド3000	1
	ロブラール水和剤	2,000	前日	5		2
	コサイド3000	2,000	－	－		M1
	クプロシールド	1,000	－	－		M1
	アフェットフロアブル	2,000	前日	4	褐斑病、斑点病にも登録有	7
	パレード20フロアブル	2,000	前日	3	斑点病にも登録有	7
斑点病 褐斑病	アミスター20フロアブル	2,000	前日	4	高温時の薬害に注意 茎枯病にも登録有	11
	ベルクート水和剤	1,000	7日	5	茎枯病にも登録有	M7
	ダコニール1000	1,000	前日	4	茎枯病、疫病にも登録有	M5
	シグナムWDG	1,500	前日	2	茎枯病にも登録有	11・7
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000	前日	3	茎枯病にも登録有	11
軟腐病	スターナ水和剤	2,000	前日	2		31
ヨトウムシ類	ノーモルト乳剤	2,000	前日	2		15
	アディオンフロアブル	1,500	前日	3		3A
	カスケード乳剤	4,000	前日	2	アザミウマ類にも登録有	15
	アファーム乳剤	2,000	前日	2	オオタバコガにも登録有	6
	プレオフロアブル	1,000	前日	2	オオタバコガ、アザミウマ類にも登録有	UN
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000	前日	2	ハスモンヨトウは2000倍、オオタバコガにも登録有	28
	カウンター乳剤	2,000	前日	2	オオタバコガにも登録有	15
	アクセルフロアブル	1,000～2,000	前日	3		22B
ハダニ類	コテツフロアブル	2,000	前日	2	オオタバコガ、ヨトウムシ類にも登録有	13
	コロマイト乳剤	1,000	前日	2		6
	ダニサラバフロアブル	1,000	前日	2		25A
	グレーシア乳剤	2,000	前日	2	ハスモンヨトウ、アザミウマ類にも登録有	30
	マイトコーネフロアブル	1,000	前日	1		20D
アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	4,000	前日	2	アブラムシ類、コナジラミ類にも登録有	4A
	スピノエース顆粒水和剤	5,000	前日	2		5
	アドマイヤー顆粒水和剤	5,000	前日	2		4A
	ファインセーブフロアブル	2,000	前日	2	タバココナジラミにも登録有	34
	リーフガード顆粒水和剤	1,500	前日	2	ナメクジ類、タバココナジラミにも登録有	14
	ディアナSC	2,500～5,000	前日	2	ハスモンヨトウ、コナジラミ類(2,500倍)にも登録有	5
	ウララDF	2,000	前日	3	対象はネギアザミウマ。アブラムシ類にも登録有	29
	ベネビアOD	2,000	前日	3	ハスモンヨトウ(4,000倍)にも登録有	28
コナジラミ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000	前日	3	アザミウマ類にも登録有	4A
	ハチハチフロアブル	1,000	前日	2	ネギアザミウマ、アブラムシ類にも登録有	21A
	ベストガード水溶剤	1,000	前日	3		4A
	コルト顆粒水和剤	4,000	前日	3	ネギアザミウマにも登録有	9B
	モベントフロアブル	2,000	前日	3	アザミウマ類、ハダニ類にも登録有	23

ミニトマト

施肥基準（10ａ当りkg）

土壌分析を基にして適正施肥

肥料名		元肥	追肥	成分表
完熟堆肥		2,000		
セルカ		100		
BM苦土重焼燐		20		
マルチサポート		40		
例１	ミニ太郎	100		N－10　P－15　K－4
例２	ビオ有機	140		N－11.2　P－17.2　K－11.2
	スーパーロング（180日）	50		
液肥			月２回	

防除基準

病害虫名	農薬名	使用濃度	使用期間	使用回数	マルハナバチへの影響	備考	分類
葉かび病	ゲッター水和剤	1,500	前日	3	乾けば影響なし	灰色かび病にも登録有	10・1
	トリフミン乳剤	2,000	前日	5	１日	すすかび病、うどんこ病にも登録有	3
	トップジンM水和剤	1,500～2,000	前日	5	乾けば影響なし	灰色かび病に登録有	1
	ベルクートフロアブル	4,000	前日	2	乾けば影響なし	すすかび病、斑点病、灰色かび病、うどんこ病にも登録有	M7
	ネクスターフロアブル	1,000	前日	3	１日	すすかび病、灰色かび病、うどんこ病にも登録有	7
	パレード20フロアブル	2,000～4,000	前日	3	１日	すすかび病、斑点病、うどんこ病にも登録有	7
	ケンジャフロアブル	1,500	前日	3	乾けば影響なし	うどんこ病、灰色かび病、菌核病にも登録有	7
	フォリオゴールド	800	前日	2	１日	疫病（1,000倍）にも登録有	4・M5
すすかび病	ダコニール1000	1,000	前日	2	乾けば影響なし	葉かび病、灰色かび病、疫病、斑点病にも登録有	M5
	ニマイバー水和剤	1,000	前日	3	乾けば影響なし	葉かび病、うどんこ病にも登録有	10・1
	Zボルドー	500	－	－	乾けば影響なし	疫病(400～600倍)にも登録有	M1
灰色かび病	フルピカフロアブル	2,000～3,000	前日	4	乾けば影響なし		9
	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000	前日	3	乾けば影響なし	葉かび病、すすかび病、斑点病にも登録有	11
	シグナムWDG	2,000	前日	2	１日	葉かび病、すすかび病、灰色かび病、うどんこ病にも登録有	11・7
疫病	ランマンフロアブル	1,000～2,000	前日	4	乾けば影響なし		21
	ペンコゼブフロアブル	1,000	前日	2	乾けば影響なし	葉かび病にも登録有	UN
	ベトファイター顆粒水和剤	2,000	前日	3	乾けば影響なし		27・40
	レーバスフロアブル	2,000	前日	3	１日		40
	ザンプロDMフロアブル	1,500	前日	3	１日		40・45
	ゾーベックエンテクタSE	4,000	前日	2	１日		49・21
斑点病	ロブラール水和剤	1,000	前日	3	乾けば影響なし	灰色かび病(1,000～1,500倍)にも登録有	2
	アフェットフロアブル	2,000	前日	3	１日	葉かび病、すすかび病、灰色かび病にも登録有	7
オオタバコガ	アタブロン乳剤	2,000	前日	3	４日	コナジラミ類、ハスモンヨトウにも登録有	15
	プレオフロアブル	1,000	前日	2	１日	ハモグリバエ類、ハスモンヨトウにも登録有	UN
コナジラミ類	ベリマークSC	25mℓ～50mℓ／株	育苗期後半～定植当日	1	１日	株あたり25mℓ灌注	28
	ベストガード粒剤	１～２ｇ／株	定植時	1	30日	植穴処理土壌混和、アブラムシ類にも登録有	4A
	スタークル粒剤	１～２ｇ／株	定植時	1	10日	株元散布	4A
	コルト顆粒水和剤	4,000	前日	3	７日	アブラムシ類にも登録有	9B
	ディアナSC	2,500	前日	2	１日	オオタバコガ・ハモグリバエ類・アザミウマ類(2,500～5,000倍)にも登録有	5
	クリアザールフロアブル	2,000～4,000	前日	2	１日	トマトサビダニ(2,000倍)にも登録有	23
	ダブルシューターSE	1,000	前日	2	３日	オオタバコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類にも登録有	5
	ベネビアOD	2,000	前日	3	１日	アブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガにも登録有	28
	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000	前日	2	５日	アブラムシ類(2,000倍)、トマトサビダニにも登録有	4C
ハモグリバエ類	アファーム乳剤	2,000	前日	5	２日	オオタバコガ、トマトサビダニにも登録有	6
	カスケード乳剤	2,000～4,000	前日	2	２日	オオタバコガ、トマトサビダニ(4,000倍)にも登録有	15
トマトサビダニ	コテツフロアブル	2,000	前日	3	９日	オオタバコガにも登録有	13
	コロマイト乳剤	1,500	前日	2	１日	コナジラミ類、ハモグリバエ類にも登録有	6
	グレーシア乳剤	2,000	前日	2	１日	アザミウマ類、オオタバコガにも登録有	30

マルハナバチへの影響は、メーカー資料、他県資料より引用。
日数等は、使用時期、地域の気象条件、農薬散布方法等により残効の変動がありえますので、一応の目安として下さい。

◎環境に配慮した害虫防除法

１．フェロモン剤

害虫名	薬剤	使用量	使用方法	備考
ハスモンヨトウ	フェロディンSL	２～４個／１ha	風通しの良い地上１～1.5ｍの高さに設置する。	成虫密度が低いほど効果は高まるので栽培開始の１ヶ月前よりトラップを設置し、栽培が終わるまでに連続的に使用する。フェロモン剤の有効期限は野外1.5～２ヶ月であるので適宜新しいものと交換する。
ヨトウムシ類 オオタバコガ	コンフューザーV	100～200本/10ａ シロイチモンジヨトウは100本/10ａ	・７月上・中旬にハウス内に均一になるように設置する。 ・高さは1.5～２ｍ程度 ・設置前に害虫密度を下げる。	・害虫密度を低下させ、農薬散布回数の削減を狙うものであり、設置後も害虫発生状況に応じて防除を行う。 ・効果は概ね３か月 ・製品受け取り後は、必ず３日以内に設置する。

２．誘引粘着法

害虫名	資材	使用量	使用方法	備考
スリップス類	ホリバー(青)	100枚／10ａ		約２ヶ月おきに交換する
コナジラミ類 ハモグリバエ アブラムシ	ホリバー(黄)			

３．防虫ネット

害虫名	資材	色	ネット目合い	遮光率
アザミウマ類	スリムホワイト45	白	約1.8㎜×10㎜	45%
	虫バリア	グリーン	約0.75㎜	－

◎天敵殺虫剤

害虫	品名	規格	散布時期	10ａ当たり放飼頭数	備考
ハダニ類	ミヤコバンカー	100頭／パック	10月下旬～11月上旬	100パック	
	スパイカルEX（ミヤコカブリダニ剤）	5,000頭／250mℓ	11月上旬	2,000～25,000	
	スパイデックスパイタル（チリカブリダニ剤）	2,000頭／100mℓ	11月上旬/２月上旬	2,000～6,000	２回放飼
アザミウマ類	リモニカ（リモニカスカブリダニ剤）	12,500頭/１ℓボトル	11月上旬/２月上旬	25,000～50,000	２回放飼
	ククメリスEX（ククメリスカブリダニ剤）	50,000頭/1ℓボトル	11月上旬/２月上旬	300,000頭	２回放飼

◎土壌消毒法

薬剤名	病害虫名	適用作物	10ａ当りの使用量	備考	分類
バスアミド微粒剤 又は ガスタード微粒剤	黒点根腐病 つる割病	メロン	20～30kg	○適度な土壌水分がある時に耕起し均一散布後深さ15～25㎝の土壌と混和し（乾燥時は灌水してから）ビニール被覆又は鎮圧水封する。 ○処理は７日～14日後にビニールを除去してのガス抜きを行う。 ○重粘質、水分が多い、地温が低い（15℃以下）土壌の場合はガスの拡散が遅いので被覆期間を延長し十分なガス抜きを行う。	8F
	萎凋病	トマト	20～30kg		
		しゅんぎく	20kg		
	青枯病	ミニトマト	30～60kg		8F
	炭そ病	イチゴ	20～30kg		
	萎黄病	ダイコン こまつな	20～30kg（ダイコンは播種21日前まで、こまつなは播種10日前まで）		
テロン	センチュウ コガネムシ類幼虫	ダイコン はくさい スイカ かぼちゃ	15～20ℓ（１穴当り1.5～２cc）	○地温が15℃以上（４～10月）で効果が高く注入後６～14日でよく耕しガス抜きして、３週間おく。 ○15℃以下の場合、くん煙期間を十分（３～４週間）おく。	8A
	センチュウ、青枯病	バレイショ	30～40ℓ（１穴当り３～４cc）		
ソイリーン	萎黄病	イチゴ	20～30ℓ（１穴当り２～３cc）	○灌注後直ちにポリエチレンシートなどで地表面を被覆し、10日～14日程度そのままにしてガス抜きをする。（地温が低い場合には被覆期間を長くする。）	8B
	萎凋病	トマト			
	ネグサレセンチュウ	ダイコン			
	ネコブセンチュウ	はくさい			8A
	黒点根腐病	メロン	30ℓ（１穴当り３cc）		
	つる割病	スイカ			
	青枯病	バレイショ			
	立枯病	カンショ			
ネマキック	ネコブセンチュウ	キュウリ トマト ナス メロン カンショ	15～20kg	○散布する時は全面土壌混和すること（厳守） ○混和が不十分の場合には薬害を生ずることがあるので、注意する。 ○０回以内	1B
	ネグサレセンチュウ	ダイコン イチゴ	20～50kg		
ガードホープ液剤	ネコブセンチュウ	ミニトマト	１㎡当り２ℓ土壌かん注	4,000倍・前日まで・１回	1B
クロルピクリン錠剤	炭そ病他	イチゴ	１穴あたり１錠	〈圃場〉「１穴あたり１錠処理」30×30cm毎に１錠処理する	8B
太陽熱消毒	1．時期 ○５～８月の20日以上（地下10㎝の温度が45℃以上になる日が15日以上になるよう処理） ○切わら１ｔ/10ａ、石灰窒素100kg/10ａを施用耕運してすき込む。 ○幅60～70㎝、高さ30㎝程度の畦立を行い、畦間に灌水。 ○透明ビニール等で地表面を被覆し、ハウスを密閉。				

◎液　肥

肥料名		N	P	K	Mg	Mn	B	備考
土壌施用剤	新園芸アミノ１号	8.0	3.0	2.0	－	－	－	○水溶液であるため土壌によく浸透し、早く効く。 ○スプリンクラー、チューブ灌水による施用が省力化できる。
	新園芸アミノ２号	2.0	6.0	5.0	－	－	－	
	園芸アミノ463号	4.0	6.0	3.0	－	－	－	
	有機入りアミノキッポ７号	7.0	3.0	3.0	－	－	－	
	くみあい液肥　特２	10.0	4.0	8.0	－	－	－	
	サスペンジョン３号	8.0	3.0	5.0	－	－	－	
	トミーブラック	10.0	4.0	6.0	－	－	－	
	トミーグリーン	6.0	8.0	8.0	－	－	－	
葉面散布剤	メリット青（生長用）	7.0	5.0	3.0	－	0.1	0.2	
	メリット黄（結実用）	3.0	7.0	6.0	－	0.1	0.2	
	メリット赤（完熟用）	－	10.0	9.0	－	0.1	0.2	
	あおぞらくん	6.0	6.0	4.0	－	1.0	0.5	
	ホスプラス	－	32.0	25.0	－	－	－	
	カルハード	CaO　11%、糖類有機酸						
	カルクロン	CaO　38%						
	カルタス	CaO　10%						
	ハニーエース	糖、クエン酸、N、Ca入り						低日照、低温厳寒期での樹勢維持
発根促進剤	美果多	有機酸、総合酵素類、有用微生物群、総合アミノ酸、糖類　N：0.57%　P：0.5%未満　K：0.5%未満						
	チャンス	有機酸 約28%（クエン酸）						
	アミハート	N：3.6%						
	コンリキ							

◎ウスカワマイマイ、ナメクジ類の防除法

薬剤名	作物名	使用方法	使用期間	使用回数	備考
スラゴ	温室、圃場	１～５ｇ／㎡ ナメクジ類及びカタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置	発生時	－	１．なるべく日中、高温時の使用を避け、ナメクジ・カタツムリ類が活動を始める夕刻に使用する。 ２．被害発生時期の２週間前（～１ヶ月前）、圃場全体にばら撒く。 ３．処理後に食害があればナメクジの密度が高いと考えられるので、再度処理を行う。
ナメクリーン３	キャベツ、レタス いちご はくさい アスパラガス	１～３kg／10ａ ３kg／10ａ ３kg／10ａ １～３kg／10ａ	14日前 前日 ３日前 前日	2	株元散布 メタルアルデヒドを含む農薬の総使用回数６回以内（散布及び根元散布は合計３回以内（但し、株元散布は２回以内））

農薬を使用する場合は使用基準を守り、散布日の記帳を必ず行いましょう。

監修　県央振興局農林部